

温州みかんに対する住友ジベレリン液剤使用「年間スケジュール」



●使用回数:それぞれの使用目的で1回ずつ

●ジベレリンを含む農薬の総使用回数:3回以内

2020年10月現在

薬液の調製法

本剤は下記の表に従って所定量の水に希釈すれば希望濃度の水溶液を作ることができます。

薬液調製量 〔薬液+水〕の総量(L)	ジベレリン濃度								
	1ppm	2ppm	2.5ppm	5ppm	10ppm	25ppm	50ppm	400ppm	500ppm
40mLの場合 (ジベレリン200mg)	200L	100L	80L	40L	20L	8L	4L	0.5L	0.4L
100mLの場合 (ジベレリン500mg)	500L	250L	200L	100L	50L	20L	10L	1.25L	1L

※薬液は使用の都度調製し、なるべく当日中に使い切ってください。溶解後放置すると効力が低下することがあります。



かんきつに対する住友ジベレリン液剤の適用表(抜粋)

2020年10月現在

作物名	使用目的	使用濃度 (ジベレリン)	使用液量	使用時期	使用 回数	使用方法	ジベレリンを含む 農薬の総使用回数			
かんきつ(苗木、ただし、 温州みかんを除く)	花芽抑制による 樹勢の維持	25～50ppm	50～250L/10a	12～3月	1回	立木全面散布又は枝別散布	1回			
かんきつ (不知火、ぼんかん、かぼす、 はるみ、ワシントンネーブル、 日向夏、すだち、平兵衛酢、 長門ユズキチ(無核)、温州みかん、 せんかん、紅まどんを除く)		2.5ppm	200～700L/10a	収穫後～3月		立木全面散布又は枝別散布 (※マシン油乳剤60～80倍液に加用)				
			50～250L/10a	収穫直後～収穫約1ヶ月後		立木全面散布又は枝別散布				
		25～50ppm	50～100L/10a	開花始め～満開10日後		散布				
不知火、はるみ、紅まどん	花芽抑制による 樹勢の維持	2.5ppm	200～700L/10a	収穫後～3月		3回以内	立木全面散布又は枝別散布 (※マシン油乳剤60～80倍液に加用)			
		25～50ppm	50～250L/10a	収穫直後～収穫約1ヶ月後			立木全面散布又は枝別散布			
		落果防止		50～100L/10a			開花始め～満開10日後		散布	
		水腐れ軽減	0.5～1ppm	50～500L/10a			着色終期 ただし、収穫7日前まで	果実散布		
ぼんかん	花芽抑制による 樹勢の維持	2.5ppm	200～700L/10a	収穫後～3月			1回	立木全面散布又は枝別散布 (※マシン油乳剤60～80倍液に加用)		
		25～50ppm	50～250L/10a	収穫直後～収穫約1ヶ月後				立木全面散布又は枝別散布		
		落果防止		50～100L/10a				開花始め～満開10日後		散布
		水腐れ軽減	0.5ppm	50～500L/10a				着色始期～4分着色期 ただし、収穫21日前まで	果実散布	
長門ユズキチ(無核)	花芽抑制による 樹勢の維持	25～50ppm	50～250L/10a	収穫直後～収穫約1ヶ月後				1回	立木全面散布又は枝別散布	
		落果防止		50～100L/10a	開花始め～満開10日後				散布	
		着果安定	50ppm		開花期～開花終期				花又は果実散布	
		果皮の緑色維持	10～25ppm	50～400L/10a	収穫予定14～30日前				果実散布	
すだち	花芽抑制による 樹勢の維持	25～50ppm	50～250L/10a	収穫直後～収穫約1ヶ月後	1回				立木全面散布又は枝別散布	
		落果防止		50～100L/10a		開花始め～満開10日後			散布	
		果皮の緑色維持	5～25ppm	50～400L/10a		収穫予定7～30日前			果実散布	
		平兵衛酢、かぼす	花芽抑制による 樹勢の維持	25～50ppm		50～250L/10a			収穫直後～収穫約1ヶ月後	1回
落果防止				50～100L/10a		開花始め～満開10日後			散布	
果皮の緑色維持	10～25ppm			50～400L/10a		収穫予定14～30日前	果実散布			
ワシントンネーブル	花芽抑制による 樹勢の維持			2.5ppm		200～700L/10a	収穫後～3月		1回	
		25～50ppm	50～250L/10a	収穫直後～収穫約1ヶ月後		立木全面散布又は枝別散布				
		落果防止	500ppm	30～40L/10a		満開10～20日後の幼果期	幼果に散布			
		日向夏	花芽抑制による 樹勢の維持	2.5ppm		200～700L/10a	収穫後～3月	1回		
25～50ppm	50～250L/10a			収穫直後～収穫約1ヶ月後		立木全面散布又は枝別散布				
無種子化 落果防止	300～500ppm			30～40L/10a		満開7～10日後	果実散布			
温州みかん(苗木)	花芽抑制による 樹勢の維持			25～50ppm		50～250L/10a	11～1月			
		10ppm	立木全面散布又は枝別散布 (プロヒドロジャスモン 1000～2000倍液に加用)							
		2.5ppm	200～700L/10a	立木全面散布又は枝別散布 (※マシン油乳剤60～80倍液又は 展着剤に加用)						
		温州みかん	花芽抑制による 樹勢の維持	25～50ppm	50～250L/10a	収穫直後～収穫約1ヶ月後				
10ppm	立木全面散布又は枝別散布 (プロヒドロジャスモン 1000～2000倍液に加用)									
2.5ppm	200～700L/10a			立木全面散布又は枝別散布 (※マシン油乳剤60～80倍液又は 展着剤に加用)						
落果防止	10ppm			50～100L/10a	開花始め～満開10日後		散布(プロヒドロジャスモン 1000～2000倍液に加用)			
	25～50ppm		散布							
浮皮軽減	1～5ppm		100～400L/10a	収穫予定日の3ヶ月前 ただし、収穫45日前まで	果実散布(プロヒドロジャスモン 1000～2000倍液に加用)					
せんかん	花芽抑制による 樹勢の維持	2.5ppm	200～700L/10a	収穫後～3月	1回	立木全面散布又は枝別散布 (※マシン油乳剤60～80倍液に加用)				
		25～50ppm	50～250L/10a	収穫直後～収穫約1ヶ月後		立木全面散布又は枝別散布				
		落果防止		開花始め～満開10日後		散布				
		着果安定	300ppm	30～60L/10a		一番花開花期	花に散布			

※マシン油乳剤または展着剤はジベレリンに加用の登録のある剤を使用し、マシン油乳剤または展着剤の注意書きを確認のうえ、使用してください。

使用上の注意事項(抜粋)

- 使用に当ってはその都度溶解調製することが望ましい。溶解後放置すると効力が低下する場合がありますので、なるべく調製当日に使い切ってください。
- ボルドー液等アルカリ性薬剤との混用はさけてください。
- 本剤の使用に当っては使用濃度、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は田舎等に放置せず適切に処理してください。

02R10J20G45-HP

2020年10月作成(情報室ブログタック)

scc GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川12丁目27番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>